



特定非営利活動法人 **NINJIN** Working Together for Asian Community Development

ニンジン・ニュースレター Vol.12 /2009.11.5

104-0043 東京都中央区湊 2-16-25-202 Tel/Fax:03-3553-7056 info@ninjin-npo.org

今年は車いすを 34 台届けました

～ 第5回モンゴル交流ツアー～

8月9日から16日まで、5回目になるニンジンのモンゴル交流ツアーを行いました。今年は、日本から8人で34台の車いす等をモンゴルへ届けました。

到着した翌日には、モンゴル障害児親の協会（APDC）への車いすの贈呈式をしました。今年は、第29特別支援学校の中庭を会場に、ここでは12台をお子さんの障害の状態を見て車いすを選び、身体に合わせ調節し、親御さんに使う上で注意するところなどを説明しながらお渡ししました。



今回のメンバーには、OT（作業療法士）が1人、PT（理学療法士）が2人、特別支援教育の先生方もいましたが、さらにウランバートルで活動している青年海外協力隊員のPTや養護の隊員等6人も参加してくれました。



車いすに乗って自分の手で動かせることがわかって大喜びのお子さんや、歩行器を使って一人で移動ができると、自慢げに動き回るお子さんもいて、表情が急に生き生きとなるのを見て、こちらもうれしくなりました。

車いすは、APDCの他、チンゲルティ地区にあ



る障害児のセンターや、外傷病院などにも寄贈しました。今年は、車いすの運搬に初めてモンゴル航空の協力をいただいたのですが、ウランバートルの空港に車いすがなくて困っているという要望があったため、大人用2台をモンゴル航空にも寄贈しました。

翌8月11日、プロペラ機に乗って、南ゴビのダランザドガドへ飛びました。ここは南ゴビ県の県庁所在地で、シェアザジョイセンターというNGOが障害児の訓練を行っています。ここ



は政府の支援がないなか障害児のご両親が自力で立ち上げたセンターで、所長のバドマーさんはじめスタッフの頑張りで、年々その活動のレベルを上げています。ニンジンでは2005年以来、夏の交流や訓練の専門家派遣などの支援を続けています。今回ここへも車いす2台と中古の下肢装具類を寄贈しました。

冬の長いモンゴルでは多くの人が夏の間、草原で思いっきり太陽を浴びて保養します。このセンターは、県知事から土地を提供してもらったとのことで、昨夏より町から離れた山の上にサマー療育キャンプを開いています。



ここでは数家族が家族単位で一週間余り、キャンプで一緒に生活しています。バドマーさんによれば、子どもたちに集中的に訓練ができるということだけでなく、孤立しがちな障害児の親たちがゆったりと知り合い、互いに助け合えるようになることに意味があるそうです。

今年は、日本からの8人のうちの4人にウラ



ンバートルから参加した青年海外協力隊員 4 人がこのサマー療育キャンプと一緒に 3 日間参加しました。理学療法士や作業療法士、特別支援学校の先生など専門家の集団でした。楽しく訓練をしたり、遊んだり、また親御さんの相談にのったりしました。

他の 4 人は南ゴビの大自然を楽しみ、南ゴビ最後の晩には療育キャンプの 8 人も合流して、モンゴルの名物料理ホルホッグを馬頭琴の演奏と共に堪能しました。本当に多くの出会いに恵まれた今回のツアーでした。

ほとんど満席でした「モンゴルの風」 ～七夕チャリティコンサート～

7月3日(金)に七夕チャリティコンサート「モンゴルの風」を開催しました。会場はほとんど満席状態でした。ご来場いただきました皆様、



本当にありがとうございました。おかげさまで募金箱を含めて、

143,232 円をモンゴル障害児支援への資金とすることができました。

バトオチルさんの馬頭琴・ホーミー、ボロルマーさんの楊琴、そしてマンドハイさんの踊りと、堪能していただけたことと思います。

今回は、モンゴルの障害児の様子やニンジンの活動を紹介する写真と説明文を用意してロビーなどに展示して、ステージからも報告しました。



順天高校のタイ修学旅行は中止

例年コーディネートしている順天高校のタイ修学旅行(7月下旬)のために、タイ側と準備を進めてきましたが、新型インフルエンザの影響で順天高校では、海外への修学旅行を全て中止することとなりました。残念ですが、こればかりは仕方がありませんね。

「世界一小ちゃい?!ミニ絵画展」

毎年、ニンジンへのチャリティーとしてご協力いただいているミニ絵画展が今年も開かれま
す。小さいことはイイことだ!と、有名漫画家・イラストレーター・画家による、ほんとに小さい出品作品がたくさんあります。ぜひお立ち寄りください。

期日:12月14日(月)~24日(木)[日曜・祭日営業]
/時間:AM10:00~PM8:00(最終日PM4:30)/会場:
ギャラリー八重洲・東京(東京駅八重洲地下街中1号)TEL:03-3278-0623

ラフ族の新年のお祭りを体験しませんか ～来年2月に北タイ農援団ツアー(予定)～

ニンジンでは、北タイの少数民族ラフ族の自立をめざす NGO・Rudela(ラフ農村開発、代表ダイエー・セイリ氏)と交流しつつ、子ども寮や研修農場などのプロジェクトを側面的に応援してきました。Rudela とともに今進めているのが、ビルマ・シャン州での研修農場づくりです。

今年2月には、その農場を訪ね、代表のドンナド氏に会い、農場が整備されている様子を見て来ました。



来年2月14~20日には、北タイ農援団ツアーを企画しています。これは、ダイエーさんの村で中国雲南地方からやってきたラフ族のお正月の祭りを体験し、Rudela20年の歩みを振り返り、ミャンマーにも足を伸ばそうという企画です。ご希望の方は日程を押さえておいていただければ幸いです。